

S.sensing® CS システム おだけ簡単の無機凝集剤削減ツール

S.sensing® CS とは

特徴

クリタの凝集自動制御システム“S.sensing® CS”は、凝集状態を監視して無機凝集剤の薬注量を自動制御する事で、無機凝集剤の使用量を最適化します。

安定処理

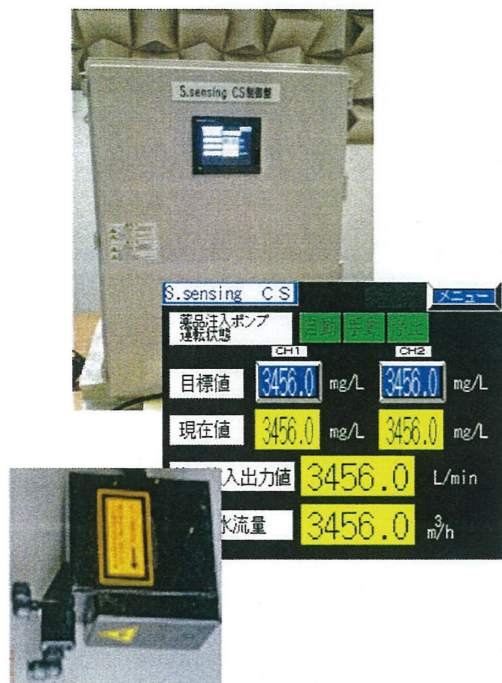
- 凝集センサ(クリピタリ®)で凝集状態をモニタリング
- 迅速な解析による自動薬注制御

コスト削減

- 無機凝集剤使用量の削減
- 中和剤使用量の削減
- スラッジ発生量の削減

省力化

- センサに汚れが付きにくい気液混合洗浄でメンテナンスフリー
- 無機凝集剤の自動制御で夜間の無人運転時も最適な薬注量を維持

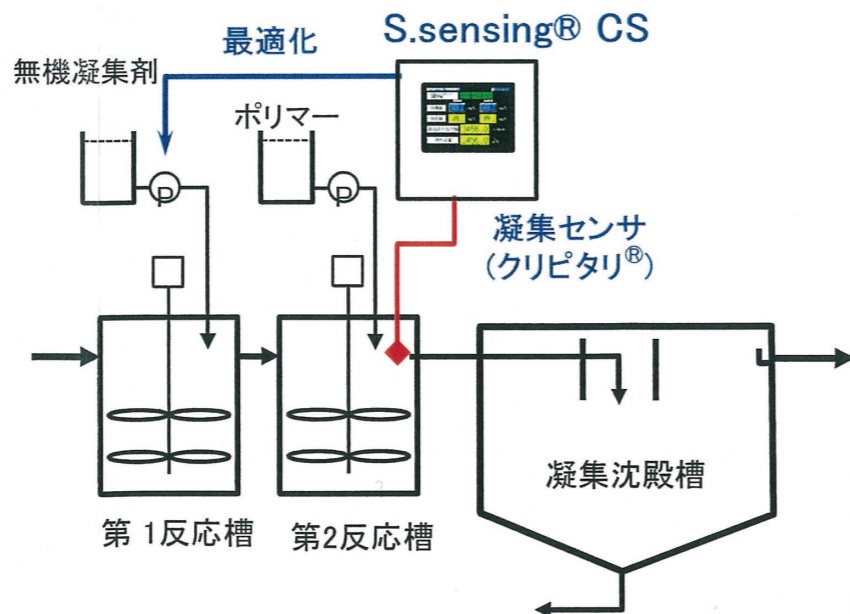


S.sensing® CS

栗田独自のセンサ(クリピタリ®)を用いた自動薬注制御装置

凝集反応槽に設置した凝集センサ「クリピタリ®」で凝集状態をモニタリング。処理水濁度の目標値に応じて無機凝集剤の薬注量を自動制御し、薬品使用量の最適化と処理水質の安定化を実現します！

S.sensing® CS システム適用フロー

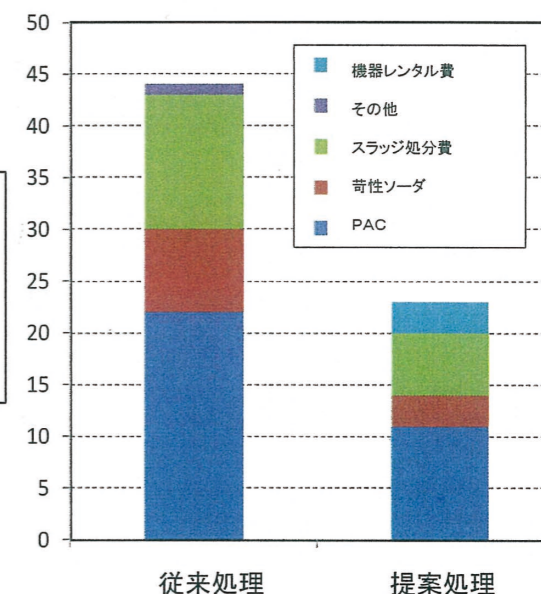
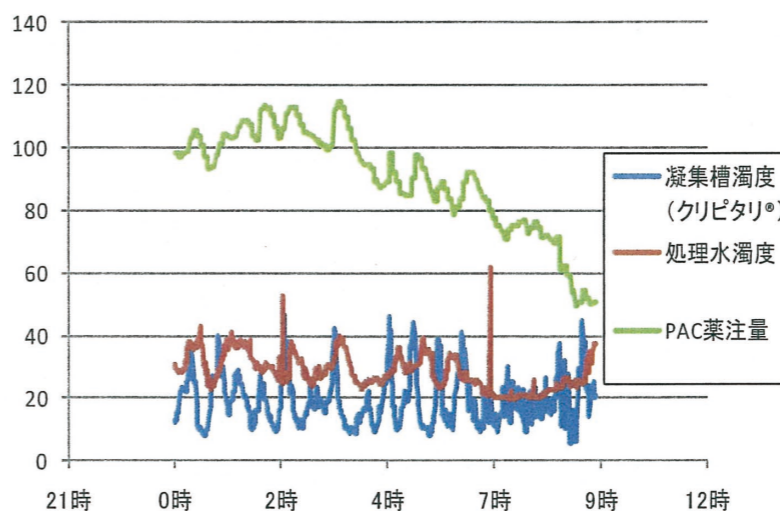


適用事例

対象: 化学品製造排水
排水量: 3,300m³/D
(排水負荷変動が大きい)
薬剤: PAC 1,000mg/L
アニオンポリマー 2mg/L

S.sensing® CS 適用結果

無機凝集剤 50% 削減
産廃汚泥発生量 229 t/年 削減
処理総コスト 23 百万円/年 削減



S.sensing® CSの操作

- 凝集槽に凝集センサ(クリピタリ®)をつけて、モニタリングを開始する。
- モニタリングの測定値と現場状況に合わせて、目標管理値を設定する。
- 測定値と目標管理値、各種パラメータを基に演算を行い無機凝集剤の注入量を自動制御する。



coagulation sensor

S.sensing® CSを活用し、コストダウンと環境負荷低減を目指します。